

3年生用

ゼミコースアウトライン Seminar Course Outline

For 3rd year students

教員名(Name) : 中土井 智 (Tomo Nakadoi)

*ゼミタイトル Seminar Title

英文学とジェンダー

*授業概要 Outline of the contents

英語で書かれた物語を原文で読みます。必要に応じて翻訳も参照します。そして、作中のストーリーから「恋愛」「友情」「ファッション」「旅行」「労働」といった、私たちの暮らしの中にもあるテーマを見つけ、それをジェンダーと歴史の観点から考察します。

ジェンダーという概念は元々言語学の用語で、男性名詞・女性名詞・中性名詞といった、ロマンス諸語やゲルマン語派に見られる名詞の性をさします。言語という人為的なものにつくりだされる性を表すことから、現在では、ジェンダーは、文化的・社会的につくられた「男らしさ」や「女らしさ」を意味する概念としてひろく用いられるようになりました(弓削 93-94)。

本ゼミでは、1期はイギリスの作家、ヴァージニア・ウルフの小説を読みます。2期は履修者の希望を聞いて作品を選びますが、主に20世紀以降に書かれた散文から検討する予定です。

*授業の形式 How the class is conducted

講義＋ディスカッションの形式で進めます。毎授業では、あらかじめ参加者が1人ずつ自分の担当する章を決めて、要約と要点を発表します。また、教員が紹介する先行研究の例を参考にしながら、批評の型を学びます。

学期末には、1つの作品を1つのテーマについて考察したレポートを提出します。

*課題・成績評価基準 Requirements and Assessment

授業中の発表・議論への参加・課題の総合点

*その他 Others

英語の作品・日本語の作品に関わらず、既に読みたい作品や考えたいテーマがある場合は、事前に相談に来ること。

参考文献：弓削尚子『はじめての西洋ジェンダー史—家族史からグローバル・ヒストリーまで』山川出版社、2022年。